AD-5662TT ワイヤレス内外温湿度計
AD-5662HT ワイヤレス内外温湿度計
AD-5662-01 ２CH温度測定ワイヤレス外部センサ
AD-5662-02 温度・湿度測定ワイヤレス外部センサ

取扱説明書　　保証書付

WM+PD4001223

1. はじめに

ワイヤレス内外温度計をより効果的にご利用いただくため、ご使用前に保証書も兼ねたこの取扱説明書をよくお読みください。また、本書を大切に保管してください。

1.1. 安全にお使いいただくために

本書には、あなたや他の人への危害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

警告表示の意味

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次のようなマーク表示をしています。

⚠注意	この表示の欄は、「障害または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本製品を操作するときは、下記の点に注意してください。

⚠注意

修理

ケースを開けての修理は、サービスマン以外行わないでください。機器を損傷したり機能を消失する恐れがあります。

機器の異常

機器の異常が認められた場合には、速やかに使用をやめ、「故障」であることを示す貼紙を機器につけるか、あるいは誤って使用されることのない場所に移動してください。そのまま使用を続けることは大変危険です。なお修理に関しては、お買い上げいただいた店、または弊社にお問い合わせください。

1.2. 取り扱い上の注意

- 強い衝撃や振動、電気的ショックを与えないでください。故障の原因になります。
- 急激な温度変化のある所、高温、多湿やホコリの多い所、また直射日光が当たる所での使用は避けてください。
- 防水型ではありませんので水中や直接水がかかる場所でのご使用は避けてください。

2. 特　徴

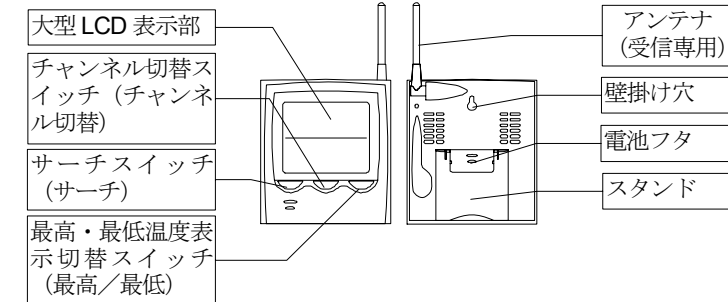
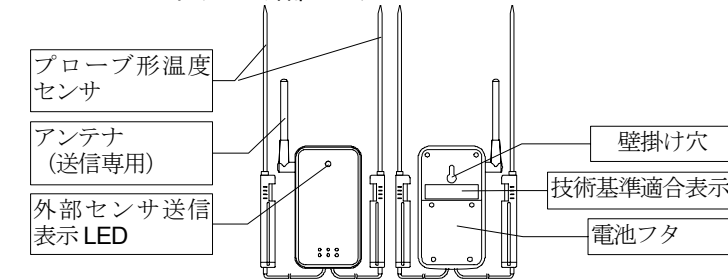
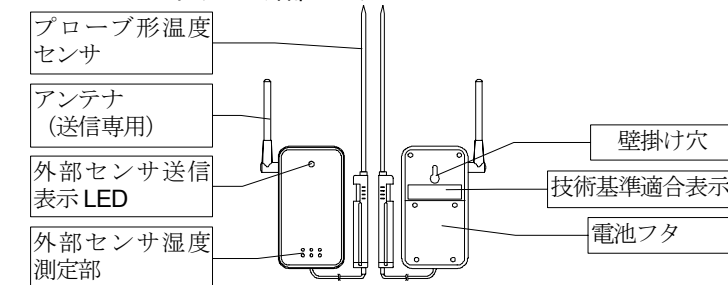
本製品には以下のような特徴を持っています。

- 本体１台に対して最大５台までの外部センサを増設し、最大１０カ所までの温度や湿度が測定できます。外部センサを増設する場合は別売りの外部センサ、AD-5662-01 または AD-5662-02 をご使用ください。
- 外部センサは特定小電力を用いたワイヤレスで、見通しで約１００m まで使えます。
- 外部センサの温度測定部はステンレスシースタイプで、液温や土壌温度も測れます。
- 内蔵／外部センサによる最高・最低の温度または湿度を記憶・表示します。
- 卓上用、壁掛け用のどちらでもお使いいただけます。

3. 構　成

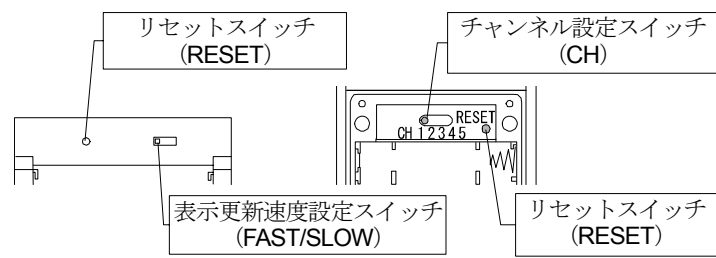
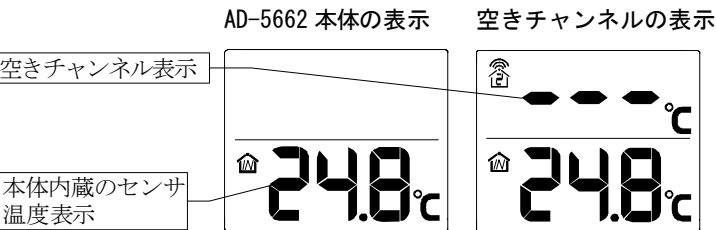
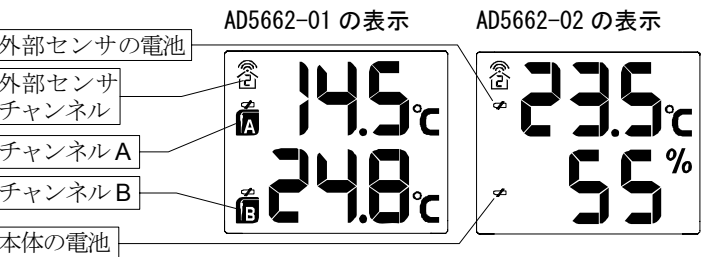
- AD-5662TT の構成は、受信機である AD-5662 本体と送信機である 2CH 温度測定可能な AD5662-01 ワイヤレス外部センサがセットになっています。
- AD-5662HT の構成は、受信機である AD-5662 本体と送信機である温度と湿度測定可能な AD5662-02 ワイヤレス外部センサがセットになっています。

4. 各部の名称

AD-5662 本体

AD-5662-01　ワイヤレス外部センサ

AD-5662-02　ワイヤレス外部センサ

AD-5662 本体設定スイッチ　　AD-5662-01/02 チャンネル設定スイッチ

5. 表示例

AD5662-01 の表示　　AD5662-02 の表示

AD-5662 本体の表示　　空きチャンネルの表示

- 約１時間以上連続して信号を受信できない時、「---」が表示されます。
- 測定温度が測定範囲以上になると「HHH」が表示されます。
- 測定範囲が測定範囲以下になるか、センサケーブルが断線すると「LLL」が表示されます。

5.1. 外部センサ AD-5661-01 または AD-5661-02 の併用

AD-5662 に１台の外部センサ AD-5661-01 または AD-5661-02 を使用する場合、そのチャンネルに１が使用されます。AD-5662-01、AD-5662-02 のチャンネルを２～５に設定してください。

6. 設　置

6.1. チャンネル設定と確認

近隣で同様な製品を使用していないか事前に確認を行い、使用上影響が無いことを確認してから設置します。

手順

1 本体に電池を挿入します。「7. **電池の交換方法**」参照。
2 そのまま約１０分間放置します。
3 本体の チャンネル切替 スイッチを押し、表示チャンネルを「１→２→３→４→５→ＩＮ」と切り替えて行き、表示部上段の外部センサ温度の表示を確認します。
4 使用する外部センサの チャンネル設定 スイッチ（CH）を上記で確認した空きチャンネル（表示の無いチャンネル）に合わせます。（表示部上段に外部センサ温度が表示されたチャンネルは使用中なの選択しないでください。）

空きチャンネルが無かった場合

電波が入らない所で、上記の手順 1、2、3 で空きチャンネルを確認し、手順 4 でチャンネルを設定してください。一度本体に使用される外部センサが登録されると、他の外部センサからの混信を防ぐことができます。

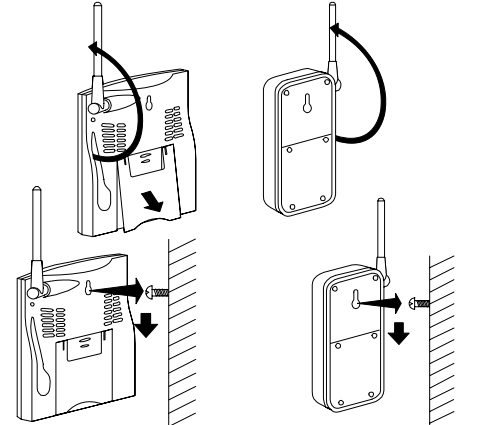
6.2. アンテナ

使用するときは本体と外部センサのアンテナを引き起こして使用してください。

6.3. 本体の設置（スタンドと壁掛け）

本製品は卓上用、壁掛け用のどちらでも使用できます。正確な測定をするために本製品は風通しのよい場所に設置してください。

スタンド‥本体裏面のスタンドを引き出して卓上用としてお使いください。

壁掛け……本体裏面に壁掛け用の穴があります。ねじの頭が 4mm 程度出るように木ねじなどを壁に取り付け、**壁掛け穴**をねじにかけて固定してください。

6.4. 外部センサの設置

外部センサを室外に設置する場合、風や振動で倒れたり、落下しないようように設置してください。壁などに固定したい場合は、本体と同様にセンサ裏側の穴をねじにかけて固定してください。AD-5662-02 外部センサは湿度センサがケース内部にありますので、風通しのよい場所に設置してください。地面に近いところやビニールハウスなどの壁面に近いところは誤差が大きくなる場合があります。

6.5. 外部センサの温度測定部位について

外部センサの温度測定プローブは、ステンレスシースを採用し、気体・液体及び半固形物の温度測定に適しています。温度測定にはセンサ部分が有るプローブの先端約 30mm まで使用してください。このプローブは、表面温度測定には適していません。　約 30mm

注意

- 外部センサは直射日光の当たる場所や、雨・雪が直接かかる場所を避けて設置してください。
- 外部センサを 0℃以下で使用する場合、使用する電池の性能によっては電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。
- 本体と外部センサの間に遮蔽物等があるとき、電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。
- 外部センサは、電波の混信やネットワークの障害を防ぐため、法律による技術基準が定められていおり、その技術基準に適合しています。技術基準を満たさないセンサは使用できません。
- 複数の外部センサを同時に近接した位置に設置したり、同一の送信タイミングや同一チャンネル設定で使用しますと、混信する場合があります。
- 外部センサ AD-5661-01 または AD-5661-02 は１台のみ使用できます。また、そのチャンネルには１が使用されます。
- 外部センサ AD-5661-01 または AD-5661-02 を１台使用した場合、AD-5662-01、AD-5662-02 は残り４台まで使用できます。（合計５台使用可能）

7. 電池の交換方法

注意

- ■ **ご購入時には、電池ボックスの電池が絶縁テープにより電源が入っていない状態になっています。ご使用前に絶縁テープを剥がしてください。**
- ■ **正しく動作させるため、電池の交換は、本体に電池を挿入し室内温度表示を確認し、外部センサに電池を挿入し、本体で外部センサの温度表示を確認してください。**
- ■ **乾電池の＋－を逆に入れますと正常に動作しないばかりか、故障の原因となります。**
- ■ **電池を交換すると最高値・最低値はリセットされます。**
- ■ **付属の電池はモニタ用なので電池寿命が短い場合があります。**

本体には単３形電池３本､外部センサには単４形電池３本を使用しています。温度表示が出ない、または薄くなったり、温度表示部に 🔋 （「5. 表示例」参照。）の表示が出た場合は下記の方法で電池を交換してください。

手順

1 電池フタを外します。

本体の場合

本体裏の電池フタをスライドさせて外します。

外部センサの場合

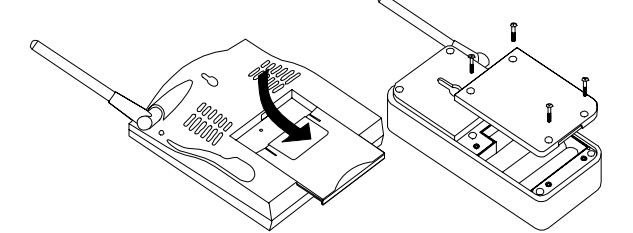
センサ裏の電池フタをとめているネジ４本を＋ドライバーで外し、電池フタを開けます。

2 古い電池を取り出し、新しい電池を電池ホルダの極性表示に合わせて正しく入れてください。

3 電池フタを元に戻します。外部センサの場合はネジ４本を締めてください。

4 外部センサの電池を交換した場合は本体をリセットする必要があります。「8.1.6 **本体のシステムリセット**」を参照し、リセットしてください。

電池使用上のお願い

- ■ 電池は必ず指定のものを使用し、３本同時に交換してください。
- ■ 充電、ショート、分解、火中への投入はしないでください。破裂や液漏れのおそれがあります。
- ■ 環境保全のため、使用済み電池は、市町村の条例に基づいて処理してください。

8. 操作方法

8.1. AD-5662 本体

8.1.1. チャンネル切替

- ■ 本体の チャンネル切替 スイッチを押すと、外部センサのチャンネルを「1→2→3→4→5→IN→1」の順で切り替えて測定値を表示します。
- ■ AD5662-01 外部センサを設定しているときは、表示部の上部にチャンネル A の温度を表示し、下部にチャンネル B の温度が表示されます。
- ■ AD5662-02 外部センサを設定しているときは、表示部の上部に温度を表示し、下部に湿度が表示されます。
- ■ 表示部左側に「IN」を表示しているときは、本体内蔵の温度センサの温度を表示部の下部に表示します。
- ■ 外部センサ AD-5661-01 または AD-5661-02 の温度は、「IN」表示で表示部の上部に表示します。
- ■ 外部センサの設定がない空きチャンネルは、「IN」表示で表示部の上部に「---」を表示します。

8.1.2. 最高値／最低値表示

- ■ 「ＭＡＸ」を表示しているときは、最高値を表示しています。
- ■ 「ＭＩＮ」を表示しているときは、最低値を表示しています。
- ■ 「ＭＡＸ」「ＭＩＮ」の表示がないときは現在の値を表示します。
- ■ 表示の切り替えは 最高／最低 スイッチで行います。
  現在値を表示しているときに 最高／最低 スイッチを押すと、「現在値→最高値→最低値→現在値」の順で表示が切り替わります。
- ■ 何も操作をしないと、約４秒後に現在値に戻ります。
- ■ 測定値の最高値・最低値は常に更新されています。

8.1.3. 最高値・最低値のリセット

1 最高値・最低値をリセットさせるチャンネルを表示させます。（「8.1.1 **チャンネル切替**」参照。）

2 最高／最低 スイッチを約２秒以上押し続けると、「ピッ」と鳴り、最高値・最低値がリセットされ、新たに記録を始めます。

8.1.4. サーチスイッチ

- ■ **サーチ機能は**本体と外部センサとの接続を回復させます。
  長期間の連続使用などにより本体と外部センサの同期がはずれ、温度が表示されない場合、サーチ スイッチを１回押すと、「ピッ」と鳴り、サーチモードで外部センサからの信号を受信し、同期を回復させます。ただし、本製品を複数台使用している場合は混信の可能性が有るため、「7. **電池の交換方法**」の注意を参照し、正しく動作させてください。
- ■ 外部センサから信号を受信できないときは、本体の温度表示部に「---」が表示されます。

8.1.5. 表示更新速度設定

- ■ 本体の電池寿命を延長するため、外部センサからの温度表示更新速度を設定することができます。
  本体裏面の電池カバーを外し、FAST/SLOW スイッチを「FAST」側に設定すると約４分毎に、「SLOW」側に設定すると約８分毎に表示を更新します。

8.1.6. 本体のシステムリセット

- ■ 本体が正しく動作しなくなったとき、または外部センサとの同期タイミングを調整したいとき、本体を初期状態にリセットすることができます。

1 本体裏面の電池カバーをは外し､先の細い尖ったものでリセットスイッチの穴に差し込み、リセットスイッチを１回押してください。

2 チャンネルを再設定してください。「6.1 **チャンネル設定と確認**」参照。

8.2. 外部センサ操作方法

8.2.1. チャンネル設定

- ■ 外部センサ裏面の電池カバーをはずし、チャンネル設定 スイッチ（CH）にチャンネル番号に設定します。設定変更を有効にするためには、センサ裏面のリセットスイッチを押すか電源を入れ直してください。ただし、本体との登録状況も変化するため、「6.1 **チャンネル設定と確認**」､「7. **電池の交換方法**」を参照し、再設定してください。

8.2.2. 測定と送信

- ■ 外部センサに電池を挿入すると、一定時間毎に自動的に測定値を送信します。測定値を送信する時間間隔は、本体の FAST/SLOW スイッチに関係なく一定です。

8.2.3. 外部センサ送信表示ＬＥＤ

- ■ 外部センサＬＥＤは、約４分間に一度だけ温度測定をして送信するときに点灯します。

8.2.4. 外部センサのシステムリセット

- ■ 万が一、本製品が正しく動作しなくなったときは、システムリセットすることができます。

1 外部センサ裏面の電池カバーをはずし先の細い尖ったものをリセットスイッチの穴に差し込み、リセットスイッチを１回押してください。

2 本体との登録状況も変化するため、「6.1 **チャンネル設定と確認**」､「7. **電池の交換方法**」を参照し、再設定してください。

9. 仕様

AD-5662 本体

使用温度範囲	: 0°C～50°C (結露しないこと)
温度測定範囲	: 0°C～50°C (内蔵ｾﾝｻ)
温度表示分解能	: 0.1°C
精度	: ±1°C (0°C～50°C)
保存温度範囲	: 0°C～50°C (結露しないこと)
温度測定間隔	: 約 10 秒(本体内蔵ｾﾝｻ)、 約 4 分(FAST)、約 8 分(SLOW)
電源	: 単三形乾電池×3 本
電池寿命	: 約 1 年(アルカリ電池､SLOW 設定時)
寸法	: 130mm(H) × 117mm(W) × 30mm(D)
重量	: 約 253g (電池含む)
付属品	: 電池(モニタ用)、取扱説明書、センサ保護キャップ、 AD-5662TT の場合 AD-5662-01 AD-5662HT の場合 AD-5662-02

AD-5662-01 外部センサ

使用温度範囲	: -20°C～50°C (結露しないこと)
温度測定範囲	: -20°C～50°C (結露しないこと)
精度	: ±1°C (0°C～50°C) ±2°C (0°C～50°C 以外)
保存温度範囲	: -20°C～50°C (結露しないこと)
温度測定間隔	: 約 4 分
電源	: 単四形乾電池×3 本
電池寿命	: 約 1 年(アルカリ電池)
無線設備の種別	: 特定小電力機器
電波伝搬距離	: 約 100m (見通し距離 #1)

AD-5662-02 外部センサ

使用温度範囲	: -20°C～50°C (結露しないこと)
温度測定範囲	: -20°C～50°C (結露しないこと)
湿度測定範囲	: 25%～95% (結露しないこと)
精度	: 温度､±1°C (0°C～50°C) ±2°C (0°C～50°C 以外) 湿度､±5%(45%～80%) ±7%(45%～80%以外)
保存温度範囲	: -20°C～50°C (結露しないこと)
温度測定間隔	: 約 4 分
電源	: 単四形乾電池×3 本
電池寿命	: 約 1 年 (アルカリ電池)
無線設備の種別	: 特定小電力機器
電波伝搬距離	: 約 100m (見通し距離 #1)

AD-5662-01､AD-5662-02 共通

使用電波周波数	: 426.05MHz
寸法	: 110mm(H) × 77mm(W) × 30mm(D)
ｼｰｽ部寸法	: 150mm x φ3.5mm、センサケーブル約 1.5m
重量	: 約 155g (電池含む)

#1 見通し距離

外部センサを 0℃以下で使用する場合、使用する電池の性能によっては電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。また、本体と外部センサの間に遮蔽物等があるとき、電波の伝搬距離が著しく低下する場合があります。

保証規定

万が一、本製品を用いたことにより損害が生じた場合の補償は本製品の購入代金の範囲とさせて頂きます。また、次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

- ■ 誤ったご使用または取扱いによる故障または損傷。
- ■ 保管上の不備によるもの、及びご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
- ■ 不適切な修理改造および分解、その他の手入れによる故障または損傷。
- ■ 火災、地震、水害、異常気象、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
- ■ 保証書のご提示がない場合。
- ■ 保証書にご購入日、保証期間、ご購入店名などの記載の不備あるいは字句を書き換えられた場合。
- ■ ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。
- ■ 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
- ■ 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

保 証 書

このたびは、ワイヤレス内外温度計をお買い上げいただきましてありがとうございます。この製品が、取扱説明書にもとづく通常のお取扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じました場合は、保証期間内に限り無償にて修理・調整をさせていただきます。

品名　エー・アンド・デイ　ワイヤレス内外温度計

型名　AD-5662TT　AD-5662HT
AD-5662-01　AD-5662-02

お客様
お名前　　　　　　　　　　様

ご住所　□□□－□□□□

ご購入日

ご購入店（ご購入店名を必ずご記入ください。）

保証期間　ご購入日より１年間

A&D 株式会社エー・アンド・デイ

本社　〒170-0013　東京都豊島区東池袋３－２３－１４
（ダイハツ・ニッセイ池袋ビル５Ｆ）

TEL. 03-5391-6126　FAX. 03-5391-6129